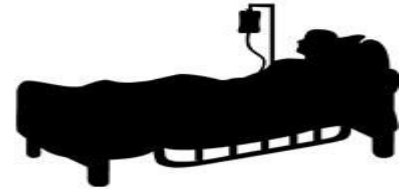


# こころで受け止める死

医療法人パリアン理事長  
川越 厚

7



100



20ml

2

「2リッター以上抜きましたかね。でも時間が十分あったおかげで、ゆっくりと家族の方とお話できました。それに大変感謝されました。」

これこそ、在宅ホスピス医の鏡である。“家族は永遠の別れをここで受け入れる”ということのを再認識しながら、よい仲間と仕事ができる幸せをぼくは噛みしめていた。

## 11月1日、「訪問介護事業所パリアン」開設

11月1日、「訪問介護事業所 パリアン」がついに開所の運びとなりました。

この日はオープンを祝福するような、雲ひとつない快晴。パリアンのチームにヘルパーが加わり、“在宅ホスピスケアはチームケア”という理念により近づいたような気がします。医師・看護師・ケアマネージャー・ヘルパー・ボランティアが一つとなって、患者さんと家族のためにケアを提供することが可能になりました。この日を迎えるまで着々と準備を進めていた、スタッフの海江田さん、早川さんは午前中から患者さんのもとへ、それぞれ出かけていきました。午後もまた、それぞれの訪問先でサービスを提供し、初日からフル稼働のパリアン訪問介護事業です。非常勤スタッフの山口さんも控えており、今後の介護事業にご注目ください。(y・s)

お待たせいたしました！ 11月1日、いよいよパリアンに訪問介護事業所が開設されました。介護保険が始まったと同時にパリアンはスタートして「死に逝く患者、家族を在宅で全人的にケアする」理念を実践して12年経ちました。時代が移り変わってもパリアンの理念は変わりませんが、患者さんの在宅のあり方は多様化しています。そして時代の移り変わりにパリアンは答えようとしてきました。高齢者の独居、老老夫婦、家族は居ても日中独居、複雑な家庭環境・・・などなど。患者さんが家に帰ってきたら、医療は医師、看護は看護師が行います。パリアンではご存知の通り、医師が週に1度の訪問診療に来て、週3回看護師が訪問してくれます。何かあれば夜中でも看護師や医師と連絡が取れますから、患者さんは安心して生活ができるのではないのでしょうか？ 御飯は？ お風呂は？ トイレは？ お薬はちゃんと飲んだ？ そんな生活の困ったことにパリアンの訪問介護はお手伝いさせていただきます。医療と看護、介護がひとつ屋根の下にあるのですから、リアルタイムで



情報交換ができ、カンファレンスを行い患者さんによりよいケアを早く届けることができます。医師＝介護、看護＝介護といつでもつながっていられます。パリアンの訪問介護は、患者さんがご自宅で思いのままの生活を最期まで過ごし、ご家族が納得できるお見送りができるようにお手伝いします。

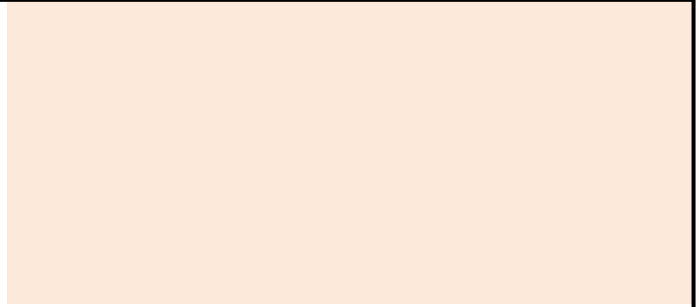
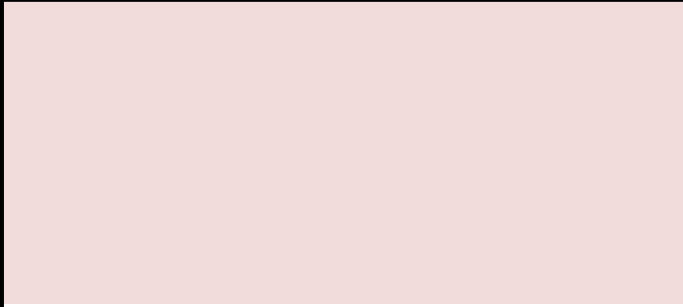
訪問介護員を「ヘルパーさん」と呼んでいますが、ヘルパーの資格についてご存知ですか？ヘルパーは無資格の人でも事業所に登録すれば介護の仕事ができますが、介護福祉士と介護職員基礎

研修とヘルパー1級、2級の資格を必要とします。介護福祉士は厚生労働大臣が指定した養成施設、大学を卒業するか、3年以上介護等の業務に従事した者等が介護福祉士国家試験に合格することで取得できる国家資格です。介護職員基礎研修とホームヘルパー1級、2級は厚生労働省が認定した講習事業者が講習を行い事業者から修了証が渡される資格です。介護福祉士、介護職員基礎研修とヘルパーの資格があるということを知らない方が多いようです。もしかしたら介護福祉士や介護職員基礎研修という資格を初めて聞いた・・・なんて方もいらっしゃるかもしれませんね。

訪問介護員は、私、海江田恵子といつも元気いっぱいにぎやかな早川浩美、包まれるようなやさしい笑顔のベテランヘルパーの山口道子の3人でスタートします。3人では少ない？かもしれませんがやる気満々、意欲山盛りです。よろしくお願いします。

海江田 恵子





4





10 13

10 13



## 「名古屋から来ました中島（なかしま）です！」

### 中島 一光



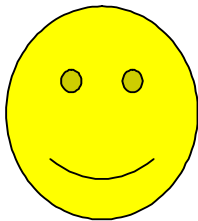
このたび、クリニック川越の副院長となりました中島一光（なかしま かずみつ）です。出身地は、味噌カツ、きしめん、ひつまぶしで有名な、あの名古屋です。生まれも育ちも名古屋、生粋の名古屋人です。2009年の名古屋まつりでは、英傑行列の先頭を切って織田信長として登場していますよ。

さて、私は今年8月まで、名古屋の南、愛知県大府市にあります国立長寿医療研究センターに勤務しておりました。

長年、呼吸器科医長として臨床と研究に携わってきましたが、昨年からは緩和ケア診療部長として、終末期を迎える高齢患者さん達に、エンド・オブ・ライフケアチームとしてかかわってきました。その活動は、NHKや大手新聞各社にも大きく取り上げられたところです。

しかし、終末期ケアが必要な患者さんは圧倒的に病院の外に多く、しかも増え続けています。そこで、私は病院を飛び出し、在宅ホスピスケアに命をかけておられる川越厚先生に弟子入りさせて頂きました。決してぶれることのない理念をかかげておられる川越先生をはじめ、スタッフ全員が本当に素晴らしい仕事をされておられるのを目の当たりにし、一緒に仕事させて頂ける私は毎日幸せをかみしめております。

日々の全てが新鮮であり勉強になります。患者さんやご家族からも色々学ばせて頂いております。日本の在宅ホスピスケアの充実と普及に向けて、少しでもお役に立ちたいと思っておりますので、皆さま、どうぞよろしくお願い致します！



## 「ことたま」

初めてお会いしたTさんの奥様。

気持ちが落ち込んで暗くて何かに怯えている様子のお見受けできる方でした。

でも、伺ったお家の中はピカピカでこれがご病人を抱えた方の生活なのかと思うほど家の中は清潔感があって、奥様は至れり尽くせりのお世話をされていました。

この方の暗さはご主人のご病気からくるものとばかり思っていました、ご主人の“ことたま”がこの方を落ち込ませていることに気づきました。

そこで、世間話をしながら奥様をねぎらい、よくここまで一人でされたことを一つ一つ口に出して、気づいたところからほめてほめてほめてほめて……。

きっとご主人も言いたいと思いますよ。奥様に“ありがとう”と。

そう話しかけると奥様は、“私、褒めてほしかったの！ありがとう、と言ってほしかったの！”

でも、いつもいつも怒られて。私がこれだけしているのに、どうして怒るの！って言いたかった。”それから、昔の楽しかった話がせきを切ったように始まりました。そして二人で大笑い。

その時ふと“私、いつから笑っていなかったかしら……？”と

“ことたま”。それは人を勇気づけるものにもなり怯えさせるものにもなる。

一番怖いものかもしれません。

K. T





# 「一般企業の社員教育を知ろう！」

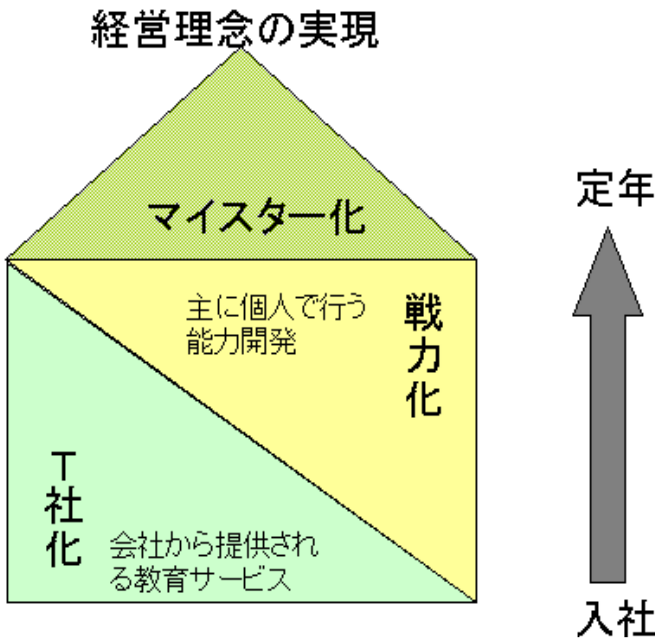
8 15

T

T

T

T



## 概要—どんなことを教えているのか？

3つの段階	内容	対象者
①T社化	<全職種共通> 経営理念、組織部門の役割、 会社・和菓子の歴史、和菓子関連知識、 商品・行事知識、進物知識、製造知識、 製菓実習、工場見学、環境保全、 茶道研修、ビジネス文書、労務知識、 工場実習・売店実習、危機管理、コンプライアンス、 クレーム対応、マーケティング、戦略、 論理的思考、コミュニケーションスキル(傾聴・アサーション)、 新任トレーナー、新任マネジメント(リーダーシップ)	<全社員対象> 必修(全員参加)と 選択(希望者参加)の組み合わせで実施
②戦力化	<各職場に必要な知識・技能> 例) 財務部-簿記・税法・社内会計システム etc	
③マイスター化	<特定分野に特化> T社を代表する技能をもつ、個人ブランド化された社員育成のため、個人ごとに内容は異なる	<一部の選抜メンバー対象>



# 第2回メモルの集い、11月10日開催します

2 11 10 1 30

## 伝言板

# ホスピス・ハワイのケンさん、11月21日来日予定

11 21

2  
11 26

## 11月のボランティア活動予定

11	10			1	30	
	11	9			2	30
			11	2	9	16 30
		11	27		1	3
	11	17			1	



## 事務ボランティアの四方山ばなし

20

2



10